



作家
元国際線乗務員
黒木安馬

【プロフィール】高校時に米国留学後、早稲田大学を経てJAL国際線客室乗務員として30年勤務。世界初の「カラオケ・フライト」や「1万メートル上空・北島三郎機上コンサート」などを実現させる。千葉の自宅は1300坪の山林を開墾してプール、テニスコート、コンサートホール等を手作りする。現在、(株)日本成功学会社長として自己啓発や社員教育で講演中。著書に『ファーストクラスの心配り』、『あなたの人格以上は売れない!』(プレジデント社)、『成「幸」学』(講談社)、『出過ぎる杭は打ちにくい!』(サンマーク出版)、『面白くなくちゃ人生じゃない!』(ロングセラーズ)、『小説・球磨川』(上下巻・ワニブックス)、『雲の上で出会った超一流の仕事の言葉』(あさ出版)などがある。
E-mail:yasuma@myad.jp URL:http://www.7b.biglobe.ne.jp/~sanpercent-club/

21世紀だ! ————— 人生・農業リセット再出発 256

オンナをイカス

額^{こめかみ}の両横に米嚙がある。古代、女が米を噛み唾液を混ぜて壺に吐きだし、発酵させて酒を造った。お神酒、神、噛み、カミサンと言葉が派生、卑弥呼の古代から女が主導権を握っていた。交尾後のメスのカマキリはオスを食べて命懸けの産卵に備えるなど、生きる適応力を身につけている。

私の誕生日を、ワタミの渡邊美樹さんたち60数名と六本木ヒルズ最上階で祝ってくれた西田憲正さんは1946年生まれで、日大卒業後に家業の聖徳電気工事社長に就任した。建築士は電気図面までは作れないから、ビル建設の電気工事は設計図から参入して建築コンサルタント業にもなった。幼馴染の蒲田の旅館の息子から、古い旅館は消防法で鉄筋建替を迫られているが、旅館業は継ぎたくないの貸ビル建設にしたいと相談される。ビジネスホテルをやったらと提案すると、家賃収入があれば良いから、お前がやったら!となった。

東京と横浜の間にある蒲田だから「東横イン」にする。男は灰皿さえ掃除しないが、女は当たり前前に片づけてテーブルも拭く。蒲田一号店の支配人は、来客に家庭的に「おかえりなさい!」と言う飲み屋のママに決めた。支配人は子供が中学生になって育児が一段落した肝っ玉オッカサンの清潔感とキメ細かい対応が向いていると直感した。レストランや宴会場のある都市型豪華ホテルではなく、出張仕事を終えて帰ってくる「宿泊特化型ホテル」は、安い・清潔・安心と、家庭的休息の場所であるべきだ。宿泊部屋だけの自宅感に専念した。酔客がフロントで絡んでも女性スタッフだと手を出さない。人が利益を稼ぐ労働集約型ではなく、風呂さえ沸かせば番台にオバちゃんが座っているだけで成り立つ「番台商売」にした。「行ってらっしゃいませ!」と送り出して常連客を囲い込む。支配人

採用は、先入観のあるホテル業経験者はダメ、地元の素人主婦だけを採用し、ケアちゃん心配りを重視。男は本社幹部数名ぐらいで、全国の支配人もスタッフも地元採用で仕切っている。年齢給も能力給も転勤もないから、馴染客が応援する。主婦の支配人は、土日休で平日も10時から18時半までの勤務。炊事・洗濯・掃除に買い物と決まった給料の中で家庭を切り盛りする主婦の能力。格安料金、朝食無料で持ち帰り自由、オニギリと味噌汁の家庭的オバサン手料理。“勝手知ったる我が家”感覚で違和感のない居心地で安心感を作る。稼働率75%を下回った支配人は「稼働率向上委員会」に強制入会させられる。罰則は無いが、みともないので負けず嫌いの支配人は必死に努力する。組織にはトップダウン命令の経営トップから末端社員までいくつかの層で成り立っているピラミッド型と、指揮者もバイオリンもトランペットも、それぞれ序列の無いフラットな関係のオーケストラ型があるが、東横インは後者である。女性は上からの命令を押し付けられるのを嫌う。みんなで和気あいあいの風通しの良い家庭的雰囲気が出ているのだ。すべて土地や建物のオーナーから賃借しているホテルだから、資金調達の株式上場の必要性は一切無い。

どんどん夢を膨らませる西田さんに聞いてみた、目標は?と。答えは、海外も含めて1045軒の東横インを作ること! その心は、1045→ト〜ヨコ。女性パワーを存分に発揮させ、自らも生き生きと人生を邁進する男は、どこから観ても眩しいほど輝いている! 叱れば泣くし、誉めればつけ上がるし、殺せば化けて出る!のがオンナだと思っていたが、いやいや大したオンナ操縦術を聞かせてもらった。